



いただきます

ごちそうさま

☆食事を挨拶から☆



「命をいただく」という意味もこめられた「いただきます」のように、食事の挨拶をすることは大切です。言葉の意味がわからない赤ちゃんでも、けじめとして「食事の時間」を感じられるようになります。



食事のマナー

食器や食具の選び方

手首の動きがしっかりしてきたら、左手にお椀を持って右手で食具を使えるようになります。子どもの手の大きさに合った、持ちやすいものを用意しましょう。落とす時に割れない素材もよいですが、割れるからこそ大切に使うことを伝えられる陶器の素材もよいですね。



食事の正しい姿勢って？

正しい姿勢で食事ができるように、食事環境を見直してみましょう。テーブルやイスの高さが合っていないと足をフラフラしてしまうなど、食事に集中できません。足の下に台を置くなどして、足元を安定させます。また、子どもの視界におもちゃなど気になるものが入らないように片付けることも大切です。

テーブルの下は手のひじから下が自由に動かせる高さ



背中がかっつかないようなクッションなどを入れても

イスの高さは足の裏が床にしっかりとつく位置に

園庭開放は新型コロナウイルス感染予防のため

しばらく見合わせております。

◎保育所見学について

- 新型コロナウイルス感染予防のため、施設内の見学は園庭からの見学になります。
- 事前に電話にて日程の予約をお願い致します。予約の際は、連絡先と氏名をお伺いします。
- 来所の際は検温をさせていただきます。発熱や風邪の症状がある時は見学できませんので、ご了承ください。